



Pure 純 No.179 Pacific パ May.2015

純パの会会報『純パ』第179号

2015年5月30日発行 / 発行:純パの会

今年もホークスが優勝か？ 会員によるパシフィック・リーグ順位予想 ～「2015年 純パの会・総会」報告～

塚原 隆(東京都新宿区)

※写真撮影:影山一義(埼玉県越谷市) スライド作成・順位予想集計:田中尚(千葉県市川市)

毎年恒例となった順位予想も今年で3年目になりました。4月の総会で予想、12月の納会で結果発表・表彰というスタイルでシーズンを楽しもうという試みですが、今年は110名の会員からの投票があり、年々関心も高まってきております。また、最近の純パの会を取り巻く環境はけっこう慌ただしく、事務局を中心に活発に動き回っている日々でございます。

2015年の総会は朝日新聞から樋口太さんをゲストに迎え、一次会、二次会あわせて20名が出席し、盛大に行われました。



日時:2015年4月18日(土)16時～

場所:一次会 御茶ノ水 ケーズ / 二次会 リリーズ神田スタジアム

【出席者・順不同・敬称略】酒巻明夫、中川克己、東山道之、尾張進一、山下威、田中尚、齋藤紀美子、小林雅弘、岩河正剛、影山一義、小林新、田中篤史、小暮清之、塚原隆
ゲスト:樋口太(朝日新聞大阪本社編集局スポーツ部長)

【二次会よりの出席者】蛭間豊章、高橋豊、土岐英一郎、梅田恒、大谷透

●事務局長あいさつ 塚原隆

2015年の純パの会総会を開催いたします。

本日は朝日新聞からもお客さまを招いており、後で色々と話を聞いてみたいと思います。さて先日、「東京野球ブックフェア」が開催されました(14ページ参照)。年々このフェ

アの知名度も広がっていき、純パの会も出展し、新しい会員を迎える場にもなっております(今回は4名の新入会員を迎えました)

このようなイベントは野球の本国、アメリカでは規模が大きく、有明のビックサイトや幕張メッセのようなコンベンションセンターを借り切って開催されます。私も20年前にメジャーリーグのオールスター戦を見に行った際にこのイベントを見に行きました。その時、日本でも将来、このようなイベントがあったらいいなと思っておりました。近い将来、東京野球ブックフェアがさらに拡大し発展することを期待しております。

ペナントレースは始まったものの、戦力強化した期待のオリックスが中々勝てませんね。今日は会員による順位予想もまとまったようなので、そのへんの話を中心に総会を盛り上げていきたいと思います。

●乾杯 中川克己さん

ご指名を頂きました日本ハムファンの中川です。先日私も東京野球ブックフェアに参加し楽しませて頂きました。今日の総会は、朝日新聞からも純パの会の取材に来ているとのこと。なにしろ私は読売が苦手です。我が家では朝日新聞を購読しております。

“純パの会の発展を祈念して、乾杯！”
(会場から)ビールもアサヒでした。



●塚原事務局長あいさつ



●中川克己さん



●まずは参加者で乾杯！

●2015年パシフィック・リーグ順位予想 田中尚さん

大方の予測通り、ソフトバンクが1位を予想した方が45名と多かったですね。開幕前後に投票された方はオリックスの1位予想も多かったのですが、直近の投票はチーム成績と比例して失速してしまいました。それでも30名の方が1位を予想しています。

日本ハムの予想は2位、3位、4位にバラけており、ロッテは4、5位に投票が集中しました。

西武が森友哉の打棒とともに、開幕ダッシュに成功しましたね。総合的に3位といったところでしょうか。

楽天は最下位予想が有効投票110名中57票も集めてしまいました。これはチーム成績というよりも監督の評価なのですかね。

今年は各順位を的中する人が出てくるかもしれません。また納会のときに成績発表と表彰を行いますので大いに期待して下さい。

1. 純パの会員 順位予想
*総数 110名

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
ソフトバンク	45	36	12	9	2	2
オリックス	30	18	20	16	11	12
日本ハム	12	22	20	27	14	15
ロッテ	12	9	14	14	30	20
楽天	11	30	23	23	20	15
西武	1	2	1	12	1	27

2. プロ野球解説者 順位予想
*総数 62名

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
ソフトバンク	27	25	2	0	0	0
オリックス	25	20	2	1	1	0
日本ハム	0	2	27	11	0	0
ロッテ	0	2	15	12	1	13
楽天	0	12	1	1	20	0
西武	0	0	1	1	1	13

●純パの会特製チケットホルダー配布 田中尚さん

純パの会の皆さんは自分の応援するチームのチケットホルダーはお持ちだと思いますが、あちこち観戦に行く方に共通で使えるものが欲しいという声をもとに純パの会特製チケットホルダーを作成しました。総会に参加された方、合同観戦に参加された方に配布いたします。

「ヤフオクで転売しないように！」(会場笑)

●総会の参加者にチケットホルダーを配布、
思わず笑顔の齋藤紀美子さん。

※チケットホルダーは郵送による配布も開始します。
詳しくは45ページ参照



●“純パ賞”が復活します 田中尚さん

あの“純パ賞”が復活します(詳細は会報178号参照)。現在、着々と準備を進めております。会員の中から各チームのファンから2名ずつ選考委員を選出しました。シーズン終了後に投票を募ります。会員の皆さんの清き一票をお待ちしております。

●特別ゲスト 樋口太さん(朝日新聞大阪本社・スポーツ部長)のあいさつ



●ゲスト参加の樋口太さん

朝日新聞の樋口と申します。子どもの頃は少年ファイトーズに入会しており、パ・リーグを中心にプロ野球を見ておりました。

取材経験で言うとチーム担当としては1996年に日本一になった当時のオリックスを担当、その他にも西武、日本ハムの担当もしておりました。パシフィック・リーグもこれだけ盛り上がっているのは隔世の感であると思っています。

パシフィック・リーグという縁で皆さんとお知り合いになり嬉しく思っています。今日はよろしくお願ひします。

●北海道・函館から来た西武ファン！

尾張進一さん

函館から来た尾張です。純パの会には2000年頃に入会しました。北海道に住んでおりますが、西武ファンです。函館に住んでいるとパ・リーグの話をする機会はけっして多くはありません。純パの会の会報を見るたびに総会や納会に一度出席してみたいと思っておりました。偶然にも明日、東京で用事があり、本日出席させていただくことになりました。

実は私は子どもが4人おります。子どもたちにも西武ファンを継承したいと考えており、何とか末っ子が西武ファンになってくれそうだったのですが、その末っ子も日本ハムファイトーズのスポンサーであるホクレンに就職が決まってしまうました。

今日はパ・リーグの話をも腹いっぱいしたいと思います。

さて函館からの視点で小ネタを提供します。西武には函館大学出身の坂田遼がいます。楽天には函館工業高校出身の青山浩二がいます。先日、函館出身のこの二人が対決をしました。長いプロ野球の歴史を見ても函館対決は初めてだったと思います。私は函館に住んでいるので、この対決は感慨深い対決でした。函館に所縁のある人じゃないと気がつかない話ですが、こんな感じでプロ野球を楽しんでおります。



●尾張進一さん

●新入会員の紹介

「入会ほやほやです」田中篤史さん

新入会員の田中です。純パの会の存在は知っていたのですが、活動内容が良くわからず入会には躊躇しておりました。ところが先週に行われた東京野球ブックフェアに行った際に純

パの会のブースに立ち寄り入会した次第です。

私の野球との出会いは、都市対抗野球を見に行つた際に東芝の丹波健二(1991年の第62回都市対抗にて1試合3ホームーを記録)にひかれたのがきっかけです。その後、中学受験の際にラジオを聴きながら勉強しておりました。当時は文化放送の斉藤一美さんが好きで、よくパ・リーグの中継を聞いておりました。

セ・リーグの野球は、いがみ合っているイメージがあり、私の性分には合いませんでした。その点パ・リーグは横のつながりがとれております。これからよろしくお願ひします。



●田中篤史さん

●会員のあいさつ

小林雅弘さん

久しぶりの参加の小林です。ひいきチームは西武ライオンズです。去年は諸般の事情で西武ライオンズの試合は一度も見ておりません(会報176号参照)。先日、1年ぶりに西武ドームに行きました。今年は昨年より盛り上がっていくことを期待しております。



●小林雅弘さん

小暮清之さん

現在、オリックスは低迷しておりますが、今後巻き返してきたらパ・リーグも面白くなると思います。

酒巻明夫さん

相撲とパ・リーグが大好きな酒巻です。純パの会への入会はけっこう古く、結成2年目に入会している古参です。先日、史跡巡りで訪れた東京スタジアム跡地から15分ぐらいの所に住んでいる下町育ちの江戸っ子でございます。6月7日の純パの日合同観戦には、チケットホルダーを着けて是非参加したいと思っています。



●小暮清之さん

小林新さん

今シーズン、我がファイターズは稲葉篤紀や金子誠などの主力が抜けたわりに調子が良過ぎて恐いくらいです。期待半分、不安半分といったところでしょうか。今日は負けましたが、



明日(4/19)は大谷翔平なので勝つと思います。
(※編集担当注：19日、大谷はイーグルス相手に
3 - 0で完封勝ち)

東山道之さん

子どもの頃、後楽園球場に毎日オリオンズの試合を見に行き、その対戦相手が西鉄ライオンズでした。その西鉄ライオンズという豪快なチームカラーに惚れてしまい、それ以来、ライオンズファンです。でも最近はライオンズ一辺倒ではなく、9月頃になると日本シリーズで勝てそうなパ・リーグのチームを応援しております。

私は趣味でマラソンをやっておりまして年に何回か大会があり、会報発送日や合同観戦の日に重なってしまっており、参加出来ないのが残念です。



山下威さん

今日は西鉄ライオンズのユニフォームを着ております。普段はソフトバンクを応援しておりますが、私は福岡出身ということもあり、私の原点は西鉄ライオンズなのです。実はユニフォームについて思うことがあります。今年から西武ライオンズのビジターユニフォームは「Saitama」という地域名を入れました。せめてパ・リーグはビジターユニフォームに地域名や都市名を入れてほしいと思っています。その昔、西鉄ライオンズは昭和33(1958)年に福岡市からの資金援助を受けて平和台球場を改装しました。その御礼としてビジターユニフォームにそれまでの「NISITETU」から「FUKUOKA」に変更しました。パ・リーグはオリックス・バファローズだけが地域名が入っていないのが残念です。地域密着を主張するのであれば、ビジターユニフォームは地域名にしてほしいですね。

オリックスはかなりの戦力強化をしましたが、



●左写真上より

酒巻明夫さん、小林新さん、東山道之さん、山下威さん

有望な選手を獲得した年はチームの成績には反映しないものだと見ています。昔、太平洋クラブライオンズの時代、江藤慎一が監督兼選手に就任した年と記憶しておりますが、土井正博や白仁天など大量に戦力補強したシーズンがありました。「今年はやるぞ!」と期待したのですが、まとまりに欠けてしまい、結局優勝は出来ませんでした。今年のオリックスもチームとしてまとめていくのが大変なのでしょうか。やはり野球はチームプレーが重要だと思います。

齋藤紀美子さん

ひいきチームは西武ライオンズですが、日本シリーズはパ・リーグのチームを応援します。私は小学生の頃からパ・リーグが好きだったので、職場でも野球の話になると浮いてしまっておりました。それでパ・リーグの話をしたくて純パの会に入った次第です。西武が好きになったきっかけは石毛宏典です。石毛はアマチュア志望ということで社会人のプリンスホテルでプレーをしておりましたが、当時は誰しものが巨人に行きたいという状況で「プロ野球に入るのなら西武に行きたい」という心意気に惚れました。それ以降、ライオンズファンです。西武が日本シリーズに出場すると会社のスケジュールは1週間休暇にさせていただきます。



●齋藤紀美子さん

岩河正剛さん

入会10年目になります。入会当初、純パの会は偏った人が多く、印象が良くなかったのですが、ここ4年ぐらいは自ら積極的に活動するようになりました。やはり積極的に参加するととても楽しい会だと思っています。時代は今やパ・リーグだと思っています。今後とも純パの会を盛り上げていきましょう。



●岩河正剛さん

中川克己さん

日本ハムファンの中川です。新聞は朝日新聞を取っております。親父の代から朝日新聞です。樋口さん、今日は有難うございました。

塚原隆

私が子どもの頃、パ・リーグは阪急ブレーブスの天下でした。投手陣もヨネカジコンビ（米田哲也、梶本隆夫）もまだバリバリ投げておりましたし、山田久志や足立光宏、打撃陣は福

本豊、加藤秀司、長池徳二など破壊力は群を抜いておりました。私は南海ホークスのファンだったので、何度も何度も悔しい思いをしておりました。そんな栄光の歴史を持っているオリックスが低迷をしているのはとても残念です。今年は戦力補強をしたのになおさらです。

パ・リーグは、西鉄やら南海、阪急など西のチームが強かった歴史を持っています。その時代は学校でも職場でもパ・リーグの話をして誰も相手にしてもらえませんでした。東京で普通にパ・リーグの話題が出るようになったのは、西武が所沢に移転してからですね。そんなわけで今年は西武を推しています。中村剛也にホームラン王を獲ってほしいですね。

●福岡での合同観戦のお知らせ 岩河正剛さん

9月5日(土)、6日(日)に福岡でソフトバンクvs 楽天の合同観戦を予定しています。今回、野球観戦だけでなく西鉄ライオンズの本拠地だった平和台球場跡地巡りも企画しております。

今後、地方へ合同観戦をする際は、その地域における跡地巡りなどもスケジュールに入れていきます。

【観戦予定試合】

9月5日(土) 福岡ソフトバンクvs東北楽天(福岡ヤフオク!ドーム 14時試合開始)

9月6日(日) 福岡ソフトバンクvs東北楽天(福岡ヤフオク!ドーム 13時試合開始)

※福岡での合同観戦については47ページ参照。なお、詳細は次号にてご案内いたします。



●座談会“関西におけるオリックス ～純パの会フランチャイズ論”

かつてパシフィック・リーグは、関東に3球団、関西に3球団というフランチャイズが二つの地区に集中していた時代があった(1979年～1988年)。この時代、東京や大阪エリアに住んでいるパ・リーグファンはいつでも試合が見ることが出来た。この頃のパ・リーグのスターは落合博満。西武球場でも後楽園球場でも川崎球場でも良く足を運んだ。東京や大阪のファンは毎日、楽しめた時代である。



●座談会がはじまります

現在、パシフィック・リーグのフランチャイズは北海道から九州まで理想的に配置されており、各球団とも地域密着戦略に成功している。ところが大阪府をフランチャイズとするオリックス・バファローズはそうとも言えない現実がある。今回の座談会はそのオリックスを中心に、ゲストの朝日新聞・樋口氏も交えて、会員の方々の話を聞いてみた。

大阪におけるオリックス・バファローズ

尾張 オリックスを語るときに2004年の“合併”という事自体が私自身しっくりきておりません。

田中 純パの会の会員でもオリックスって嫌いな人は少ないと思いますよ。でも関西で阪神に囲まれたオリックスファンの気持ちってどうなのでしょうかね？

樋口 厳しい現状ですね。たればの話になりますが、仰木彬さんが生きていれば変わっていたのしょうね。仰木さんは近鉄とオリックスの両チームの色合いを上手く引き出せた人ですからね。近鉄は下町の雰囲気を持ったチームだし、オリックスは神戸のハイカラなイメージで、好対照なチームが合併したわけですしね。また現在、フロント的にはオリックス側が多数を占めており、大阪では外様感があります。地元色を出すのに苦勞をしていますよ。

東山 ロッテが川崎から千葉に移転したときもそうなのですが、フランチャイズの移転も近過ぎるとダメなのですかね。

阪神タイガーズの存在って大きい？

岩河 オリックスは大阪の南エリアをターゲットにすれば良いと思います。奈良や和歌山まで拡げてファンを拡大していくなんてどうです。北は阪神がいますからね。

尾張 オリックスは地域名をつけることは出来ないのでしょうか？

塚原 近鉄も終盤は“大阪近鉄バファローズ”と名乗っていましたね。

山下 宮内さんが独立採算になればオリックスの名称は外すような事も言うておりましたけどね。京セラドームも立地条件は悪くないのに集客力は伸びません。福岡 ヤフオク!ドームなんか交通の便が良くないのに平日でも良く入っている。人口だって関西というエリアで見れば福岡の比じゃないでしょう。

田中篤 東京の巨人に対して、大阪の阪神という構図をマスコミが作り上げてしまったのでしょうか。やはり関西で阪神の存在は大きいですよ。

山下 昔は大阪のチームと言えば南海ホークスでしたよね。それなりに存在感はありました。

田中篤 杉浦忠4連投、涙の御堂筋パレードの頃は、阪神より南海の方が人気も実力もあったと聞いていますね。

岩河 やはりテレビ中継が本格化してからですよ。それに合わせるように巨人が強くなっていきましたからね。V9なんて、とんでもないことを成し遂げたから…

塚原 そうですね。でも人気があったのは巨人だけです。阪神だって巨人戦以外はあの広い甲子園球場がガラガラでしたからね。

樋口 それから考えれば現在のパ・リーグだって1試合平均で23,000人も集められるようになったから立派ですよ。

山下 私は西鉄ライオンズの末期を知っていますが、平和台球場の観客なんて千人単位でしたからね。

岩河 いやいや千人もいなかった試合もあったんじゃないかね。数えることが出来たよ。

樋口 是非、関西パ・リーグ唯一の球団としてオリックスには奮起してほしいと思います。

尾張 まあ関西は圧倒的に阪神なのですよ。残念ですけど…



フランチャイズの見直し、エクспанション(球団拡張)

塚原 オリックスが存在感を出すには、阪神には無いコンセプトを打ち出す必要があると思います。

樋口 エリア戦略と共にコンセプトも必要です。

山下 今でこそ福岡はソフトバンク一色だけど、移転直後のダイエー時代は、まだまだライオンズファンが多く残っていましたよ。平和台球場はライオンズファンとホークスファンに真っ二つに割れていたから…

岩河 ファン同士で睨み合って、一触即発の感じでしたよ。

影山 ライオンズ応援団も葛藤があったみたいよ。そのままライオンズを応援するか、地元に来たホークスを受け入れるかって…

山下 私の親の世代は福岡と言えばライオンズだったし、ホークスは宿敵だったからね。当初はホークスが福岡をフランチャイズにするというのは違和感と抵抗感がありましたよ。

塚原 福岡はフランチャイズ球団がないと言う空白の10年間があったのが良かったんじゃないかな。

山下 神様、仏様の稲尾和久もロッテの監督をしていた時期がありましたよね。

岩河 そうそうロッテが福岡に移転するって話もあったな。

尾張 プロ野球というのは地域の文化的象徴でなければなりませんよね。

山下 オリックスにもそうしてほしいのですよ。大阪のフランチャイズ球団としてね。

尾張 だからかつての巨人が全国区というのはおかしいのですよ。

山下 巨人も今年からビジターユニフォームに「TOKYO」というネームを復活させましたね。

影山 あれは5年後の東京オリンピックを意識しているのでしょうかね。

塚原 フランチャイズについて言うと野球協約に保護地域として明記されているけど、そろそろ見直しも必要だね。日本の経済の中心は東京なのだから、東京をフランチャイズにした方が集客力の面から見ても何かと有利なのは分かりきっている。それを巨人が半世紀以上も独占しているのは良くない。東京は12球団が公平に主催ゲームを開催出来るフリーマーケットにするように出来ないものですかね。

尾張 確かに巨人は長い間、東京をフランチャイズにして恩恵を受けてきている。

樋口 メジャーリーグのようにエクспанション(球団拡張)って出来ないですかね。

塚原 日本の場合、国土が狭いからどうですかね？

岩河 僕の理想は16球団ですかね。東地区と西地区でプレーオフをして、勝利チームが日本シリーズに出場するなんて面白そうですよ。

斎藤 四国とか新潟とか、新しいチームが増えて楽しみですね。

田中篤 エクспанションも良いのですが、地方開催を進めてほしいですね。ロッテはここ10年ぐらい地方開催をしないのが残念です。

塚原 と、いうわけで、そろそろお時間となってしまいました。皆さん、フランチャイズに関してはいろいろとご意見があるようですね。また機会があればフランチャイズについて話してみたいと思います。

●白いボールのファンタジーでしめくくり

まだまだ話したらないことも多く、大半の会員は二次会会場であるリリーズ神田スタジアムに向かい、さらなる激論を交わしました。



●1次会の参加者で集合写真

●二次会に不穏な乱入者が!?

一次会を終えて、大半の参加者は、二次会会場であるリリーズ神田スタジアムに移動。すでに到着していた二次会からの参加者と合流し、再び乾杯。すぐさま歓談がはじまりましたが、そこへ、純パの会が忌み嫌っている(?)チームのユニフォーム(実際にはそっくりに似せたユニフォーム)を着た、しかも、そのチームに在籍していたある有名選手にとってもよく似た男が突如登場。いきなり選手のものまねなんぞ始めるではないですか!

実はこの方、「桑田ます似」さんという、文字通り某元選手にそっくりなものまね芸人。どうも、今年の春頃からリリーズ神田スタジアムにふらっとやってきては、いきなり即興で物まねショーを始めるという、変わった(?)お方。

さっそく店内をまわって、ものまねショーを始めたのですが、我ら純パのテーブルをみた瞬間、さすがに一瞬たじろいだ様子。それでも、ものまね芸を披露したら意外にも参加者に大受け。さらには純パの会員向けに、特別に野球英語についての講義を披露(実は桑田ます似さんは、ものまね芸人のかたわら英語の講師も務めているそうですが、このときはピッツバーグ・パイレーツのユニフォームを着るそうです)、メジャーリーグに詳しい蛭間豊章さんの解説も交えて、いつもとひと味違った楽しいひとときとなりました。

もちろん授業料として、参加者一同「投げ銭」をはずんだのは言うまでもありません。



●蛭間豊章さん。二次会から合流です



●二次会からの参加者も交えて乾杯

●「桑田ます似」さんのものまねショー



●「桑田ます似」さんによる
野球英語の楽しい授業(?)



●「桑田ます似」さんも加わって2次会参加者で集合写真